

電気料金を削減する スマートエネルギー マネージメント 自家消費を 効率良く



電力価格は常に上昇しています。これは、太陽光発電(PV)システムを設置することにより、日中の購入電力を最小限に抑える動機となります。しかし、一部の国や地方では、PVにより発電された電力を自己消費に使用することは許可されていても、PVからの逆潮流を制限されるか、または逆潮流が全く許可されない場合があります。したがって、エネルギーマネージメントシステムがなければ、PVシステムは設置できないか(逆潮流が許可されていない場合)またはシステムサイズが制限されてしまいます(制限されている場合)。

ソーラーエッジスマートエネルギーマネージメントソリューションは、ソーラーエッジパワーコンディショナのファームウェアに統合された逆潮流制限オプションを有し、PVによる発電量を負荷にあわせて動的に調整します。これにより、負荷が高いときは自家消費により多くの電力を使用することができ、負荷が低いときにも逆潮流制限を維持できます。

ソーラーエッジの逆潮流制限

- ／ 逆潮流制限がパワーコンディショナファームウェアに統合されている - エネルギーメータを設置するだけ
- ／ 高速応答時間 - 負荷消費と太陽光発電の急激な変化があっても逆潮流電力を制限
- ／ フェイルセーフ動作 - たとえ障害が発生しても、逆潮流電力が事前設定された制限を超えないように設計されています

エネルギーマネージャーとしてのソーラーエッジパワーコンディショナ

- 逆潮流制限は、パワーコンディショナのユーザインタフェースを使用して設定されます
- 複数のパワーコンディショナを用いたシステムでは、そのうちの1台のパワーコンディショナがエネルギーマネージャーとして機能します

メーターサポート

ソーラーエッジのパワーコンディショナは、連系点または負荷消費点のいずれかに取り付けられた専用メーターを読み取ることができます。

三相パワーコンディショナ用メーターの詳細はソーラーエッジジャパンまでお問合せ下さい。

逆潮流制限の例

次の例は、120kWの太陽光発電システムの動作を示しています。逆潮流制限は0Wです。



* マイナス記号は電力が系統から購入されたことを示します

一日の電力の推移の例は右図のようになります。

